

いのちの授業

16日(金)5時間目にいのちの授業を受けました。講師は、元加古川市内養護教諭の塩濱千晴先生です。

まず、元医師の日野原重明先生の紹介の後、日野原先生が作られた「十歳のきみへ いのちの授業」のDVDを見ました。

次に、聴診器を使って実際に心臓の音を聴きました。心臓の位置を確認したあと、1分間心臓の音を聴きました。多目的教室は静寂に包まれ、子どもたちは、真剣に、自分の心臓の音=いのちに向き合いました。計測後、回数を確認しましたが、60回以下から120回以上まで人によって様々でした。

続けて2人1組で友達の心臓の音を聴きました。自分の心臓の音とは違うといった声が聞こえてきました。そして、4年生で学習をした精巣や子宮、卵巣といった体のしくみの復習や受精していのちが産まれたことなどを復習しました。

最後に、日野原先生からの5つのメッセージを聞きました。①自分の「いのち」を大切に ②家族や友だちのことも大切に ③「いのち」は「時間」 ④人のために自分の「時間」を使える人になってほしい ⑤ゆるすということ ⑤は、自分の気持ちを伝えて謝ってもらってから許せると良いです。やられたらやり返すは良くないです。という内容でした。

子どもたちが帰った後、多目的教室で、塩濱先生とお話をさせていただく中で、子どもたちが最初から最後まで真剣に話を聞いてとても良かったと褒めていただきました。今日の学習を通して、今まで以上にいのちを大切にしながら生活してくれることを願っています。

